

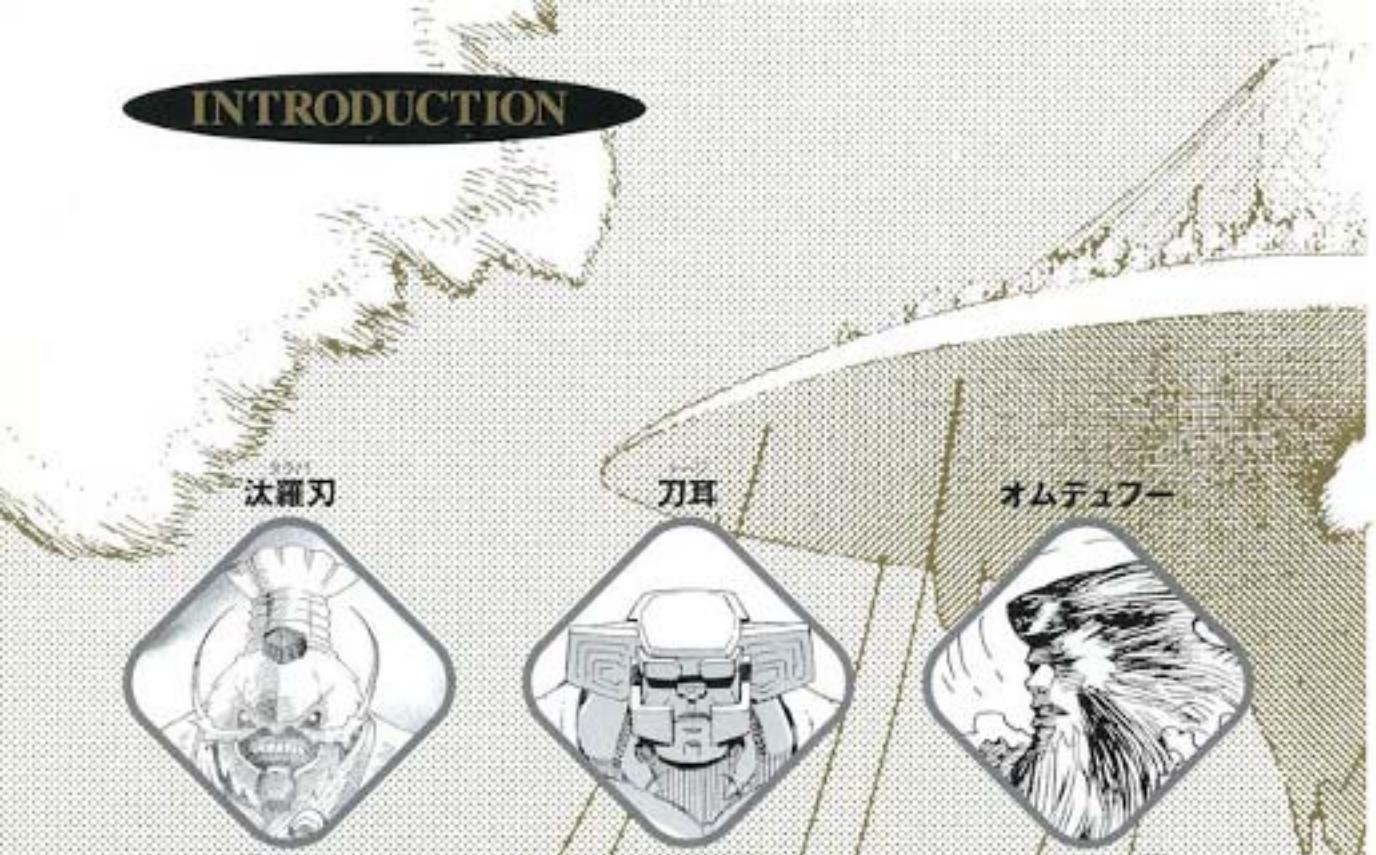


GUNNM *Last Order*

Vol. 13

木城ゆきと

INTRODUCTION



名門・上地流の流れをくむ
鎧甲戦空手の伝統的拳法。

超衛空手の使い手
がつてガリイと戦い、敗北。
ZOTTOでの再びを試みる。

『ケム王國』の裏の
サイナー生物
純火の魔伝子をもとに造られた。

ノヴァの手により、ガリイは究極のイマジノス体を与えられ復活を果たす。
一方不明だらルウが、脳内チップを抜かれた死体となつて発見された。
ルウの生身脳を捜して、ガリイはノヴァと護衛のGRシリーズ七クスクらと共に、宇宙都市イエールへ乗り込んだ。だが、イエールの実力者ムバディにノヴァは捕らえられ、ガリイたちは宇宙空間へ道楽されてしまう。間一髪、元妻腕ハッカーのビングと、火星王国・リメイラ女王に救助されたガリイたちは、ルウの脳奪還のチャンスを待つて、イエールで開催される森羅天頂武闘大会、ZOTTに出場することに。

ZOTT第1回戦、ガリイら宇宙大使隊は、カエルラ率いるガントロールを撃破。カエルラから、謎の「ログラムファタ・モルガーナ」を託された。つづく第2回戦をセクスラに任せ、ガリイはイエール本体への潜入を企てる。途中、かつての機甲術教官と遭遇したことにより、ガリイは過去の記憶を取り戻した。決意を新たにしたガリイは、「ファタ・モルガーナ」を使い中央電腦へとダブル。そこでガリイが見なのは、不死の血族と人類との長い対立の歴史だった。最終闘争に勝利した人類のリーダー・アーサーは、世界の仕組みを構築。両者の共生を願っていた血族のヴィルマ・カエルラを後見人とし、「最終指令」の権限を与えた。

ようやくルウの生身脳を捜し出したガリイは、自分の脳が知らぬ間にマクロチップに換装されていたことを知る。生身脳を失った自分は、もう人間ではないのか? 絶望に身も心も崩壊するガリイ。しかし、ガリイの脳チップは「ファタ・モルガーナ」と融合し、ゼロからの自己再生に成功する。

ムバディの妨害にあいながらも、宇宙大使隊はZOTT決勝に駒を進めた。ガリムとクス鉄町の独立国家権をかけて、Bブロックの勝者と闘うことにして、その相手は果たして宇宙空手連合軍か、それとも金星代表「ゲノム王国」か?

未来 世界は、支配する者と支配される者とに一分されていた。

圧倒的な力で地上を治めるのは、天空に浮かぶ人工の楽園都市サレム。だが、誰が、いつ、何のために、空中都市を造ったのか、知る者はいない。地上のクズ鉄町に住むサレム出身の医師・イトは、古い瓦礫の中から少女の頭部を発見し、ガリイと名付ける。奇跡的に甦ったものの、彼女の記憶は完全に失われていた。しかし、クズ鉄町での生活は、ガリイの中に眠っていた戦士の血を徐々に呼び覚ます。ガリイは賞金稼ぎを生業としながら、貪欲に自己発見の道を突き進み始めた。

ザレムに憧れる少年エリゴと出会って恋を知り、彼の死にまみえ魂の懐を知った。绝望から逃れようと飛び込んだプロスボーツ・MB界では、帝王と呼ばれる男・シティ・スカンとの邂逅、死闘、決別を経験する。自身を刃のように斬を落とし、闘い、挑むことによって、ガリイは内なる自分を見つめ続けた。だが、狂氣の科学者ノヴァに改造されたサバンとの闘いの果てに、ガリイは「家族」であるトトを失い、「」の命さえも風前の灯火となってしまう。

そのガレイを捨て、新たな道を提示したのは、ザレム地上監察局だった。イト再生の鍵を握るノヴァの行方を追うために、ガリイはザレムの地上千ジエンントナードとして生きる道を選んだ。

袖兵のフォギアと知り合い、人の心を取り戻したガリイの前に、立ちはだかる者が次々と現れる。ノヴァの息子でサイコストラーのケイオス。ケイオスの弟の人格として生まれた民衆のリトダ!電電を慕う少女ヨヨミ。ガリイの複製として作られたTUE-NED-GRシリーズ……。熾烈を極め帝國の中、TUE-NED-GRシリーズをバックアップしていた協力者・ルウは解任され、ザレム人の脳がマイクロチップであるという驚愕の真実が明かされる。対自核夢による脳内ベキングをはねのけ、ノヴァを倒したガリイただが、フタキアのもじへ向かう途中、トラップに襲われる! それは、ナノマシンテクノロジーによって再生したノヴァの仕業だった。そして、爆死したガリイの脳は、空中都市・ザレムへと持ち込まれた……。

PHASE:75

爪と牙の世界で

005

PHASE:76

喰らって太れ!!

033

PHASE:77

魂なき獣ごときには!!

065

PHASE:78

漢の拳!!

091

PHASE:79

戦う 本当の理由に…

117

PHASE:80

最後の存在証明

143

PHASE:81

「幸せ」という言葉

175